



2021年10月27日

各位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(JASDAQ・コード3174)
代表者名 代表取締役社長 田 篤史
問合せ先 専務取締役 前原 聡
電話番号 03-3562-7525

中期経営計画（2022年8月期～2024年8月期）について

当社は、この度2022年8月期から2024年8月期の3ヵ年中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 外部環境の変化に対応する投資戦略
2. 2022年8月期～2024年8月期 新3ヵ年計画
3. DX投資（ABCシステムの概要）
4. 人財投資（販売組織の再構築）
5. 商品開発（開発パイプラインシステム）
6. 商品開発（PBのポジション）
7. 数値計画

詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

※ 資料に記載しております見通し・数値計画等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいております。様々な要因により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上



株式会社ハピネス・アンド・デイ

2022年8月期～2024年8月期
中期経営計画

2021年10月27日

外部環境の変化に対応する投資戦略

生活様式の変化

行動人数の減少
行動範囲の縮小
ネット利用時間の増加

今後の方向

単にオフライン店舗からオンライン店舗への移行ではなく、
“自分に合った、自分だけの”商品・サービスを提案していく

価値観・意識の変化

気候変動や海洋汚染など
環境問題への意識の高まり
人種差別やジェンダー差別
への厳しい目線

具体的戦略

アプリを通じて店舗外での顧客との多様な接点を確保

アプリ+ビーコン+CRMでリアル接客時の情報活用

専門化、多様化する顧客ニーズに的確に対応できる教育研修

社会課題を解消を包含した独自の商品開発

上記の施策を合わせたOMO型店舗の出店

投資戦略

DX投資

人財投資

商品開発

出店投資

2022年8月期～2024年8月期 中期経営計画

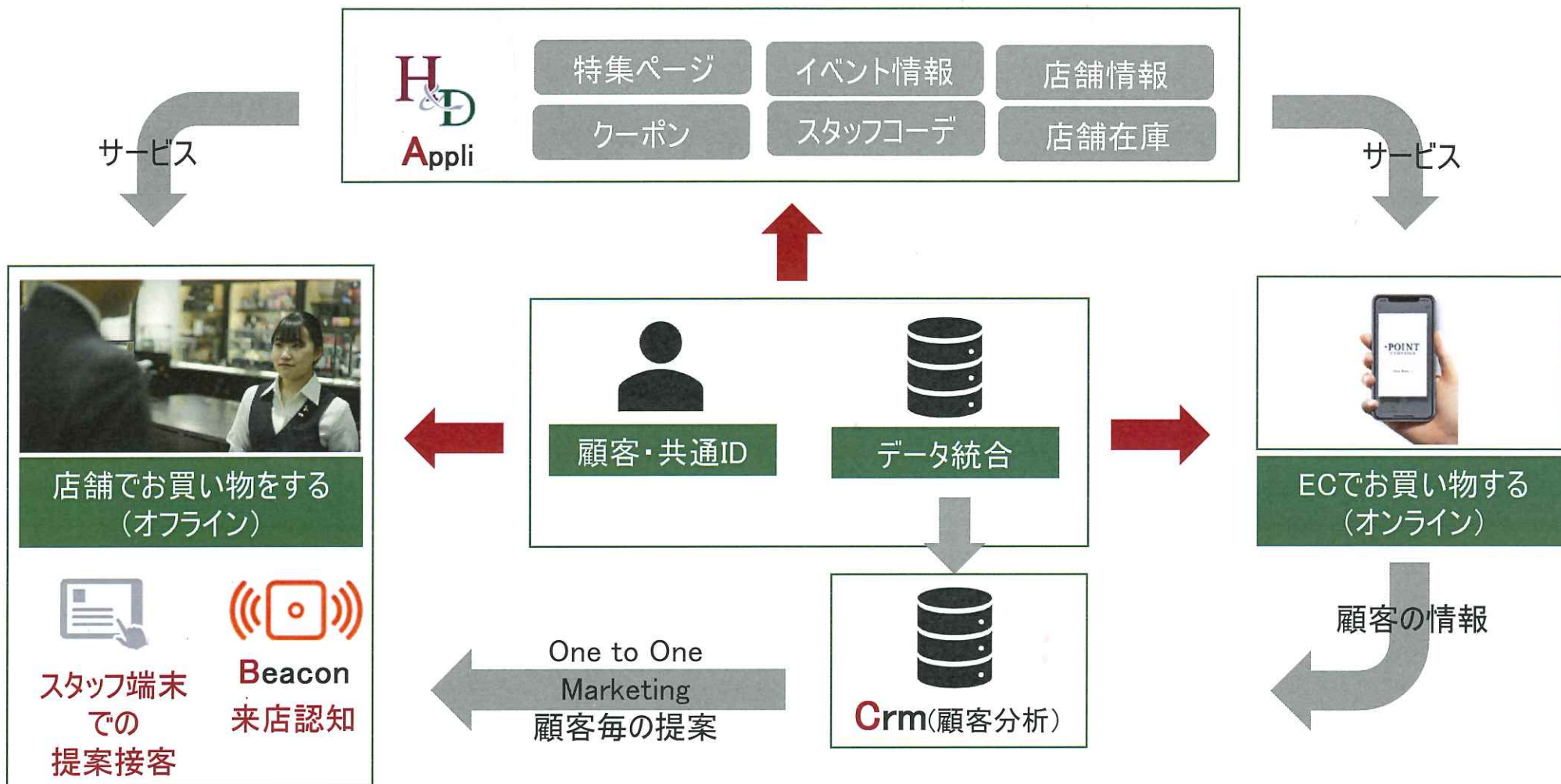
	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
DX投資	アプリ会員 期末20万人 ビーコン全店設置 CRM導入にて顧客情報の オンライン・オフライン統合	ABCシステム稼働(※1) ABCシステム関連売上高(※2) 25%超	ABCシステム関連売上高 40%超
人財投資	外訪型フィールドサービス (外商)実験 管理職研修PGM	地域旗艦店の外商実装 OMO型店舗用のインサイドセールス センター実験	OMO型店舗用のインサイドセールス センター稼働
商品開発	PB商品パイプライン(雑貨) 売上高総利益率 24.6%	PB商品パイプライン追加(宝飾) 売上高総利益率 25%	PB商品パイプライン追加 売上高総利益率 25.5%
出店投資	従来型店舗 4店舗出店	OMO型店舗(※3)の実験2店舗 従来型店舗 2店舗出店	OMO型店舗の出店 4店舗 (接客員+インサイドセールスセンター)
	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期

※1 ABCシステム Appli+Beacon+CRM の連携システムの社内プロジェクト名称

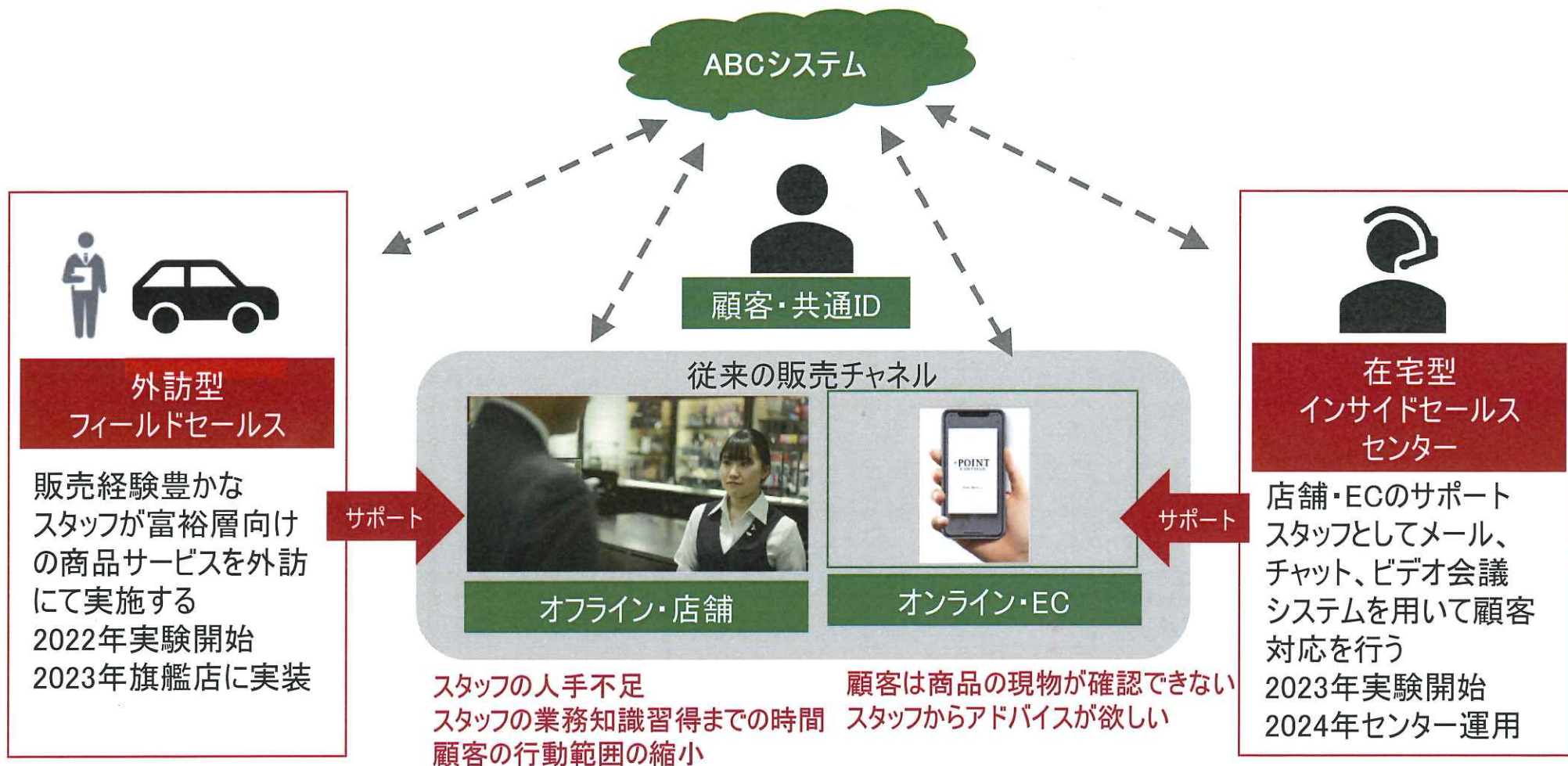
※2 ABCシステム関連売上 アプリ会員の関連売上高(店舗売上高+EC売上高+外商売上高)

※3 OMO型店舗 SNS+コールセンター+アバター接客+取り寄せサービスなどのオンラインサービスを店舗に実装

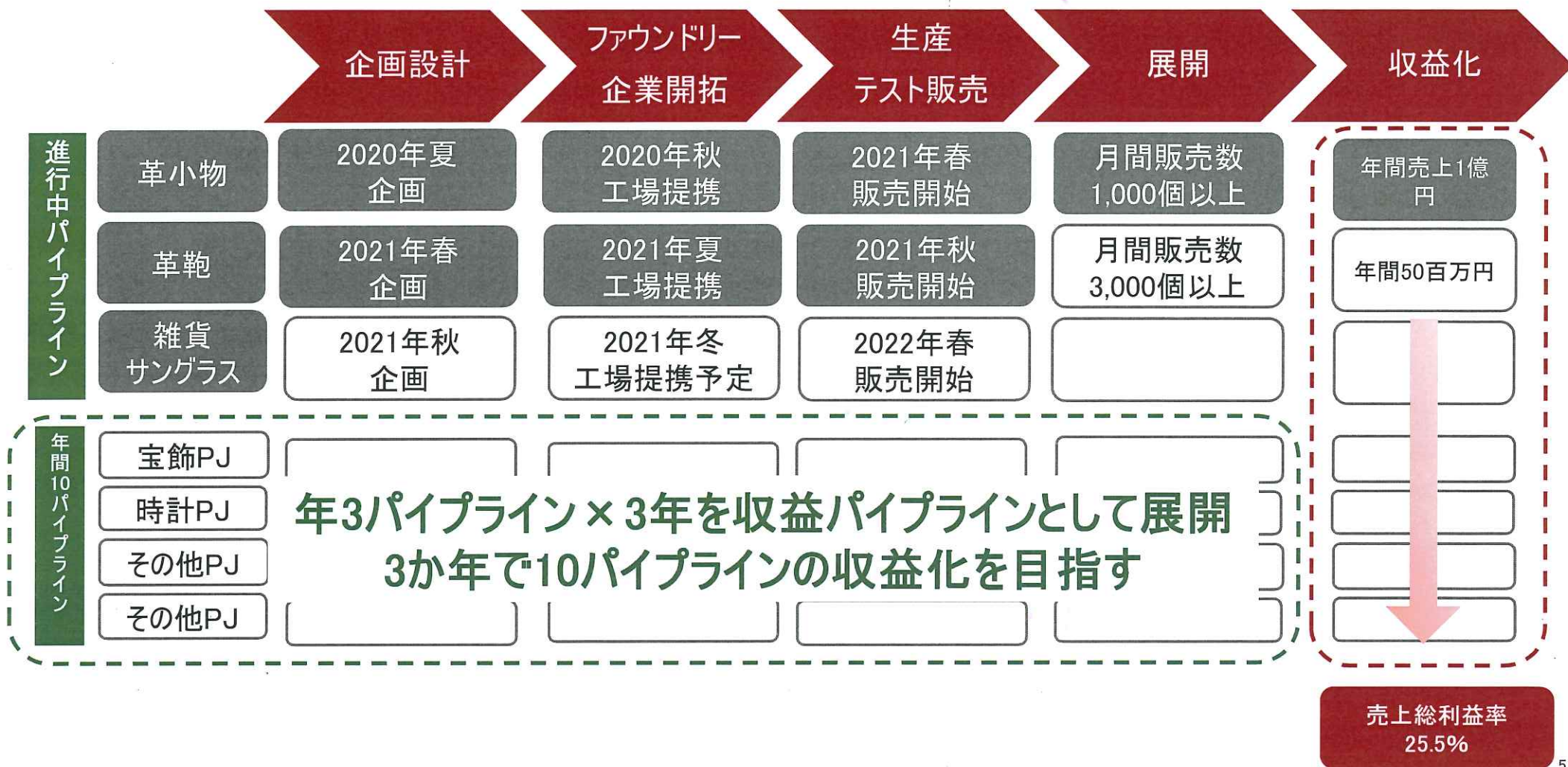
DX投資 (ABCシステムの概要)



人財投資（販売組織の再構築）



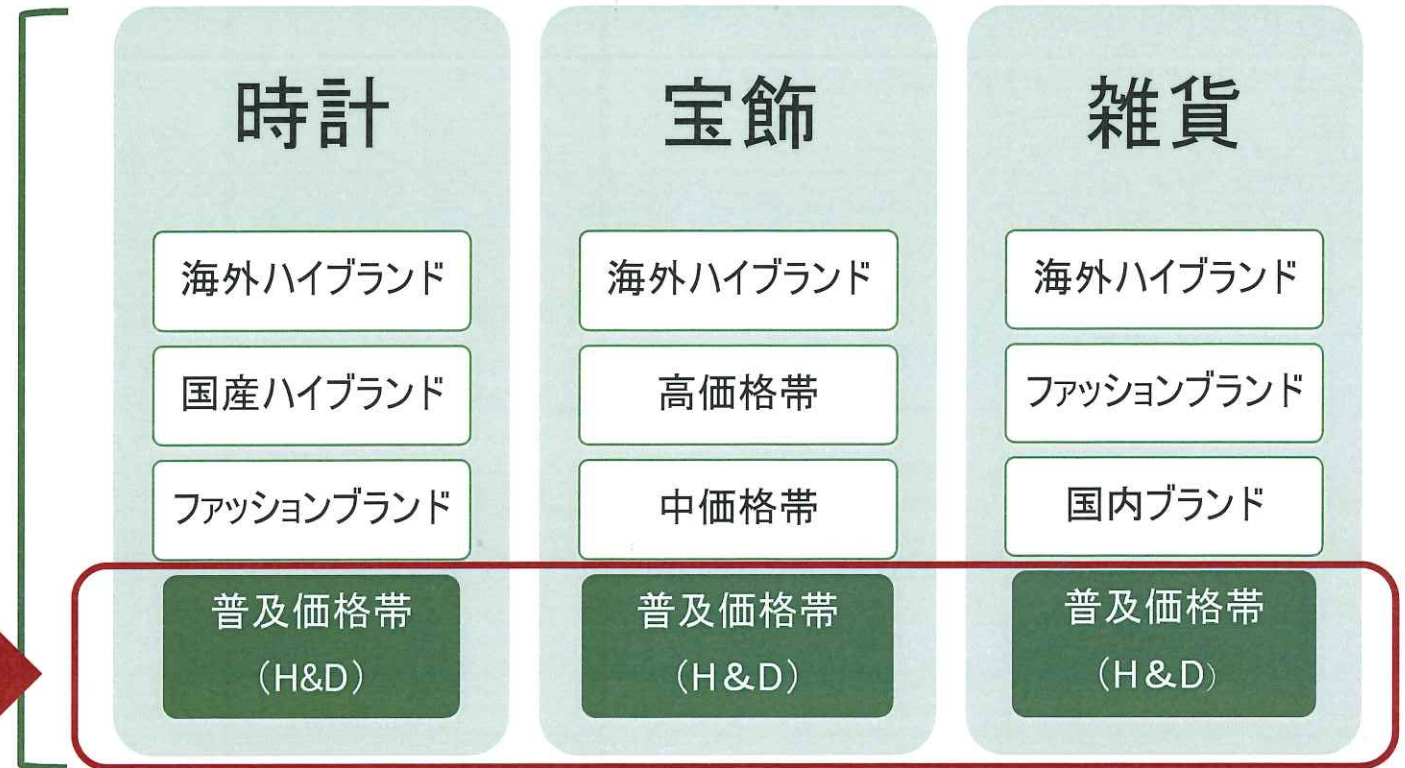
商品開発（開発パイプラインシステム）



商品開発 (PBのポジション)

ブランドショップ“HAPPINESS”
の特色である
ハイブランドからファッションブランドまで
幅広い品揃えを補完するポジション

商品開発
パイプラインシステム
(3年10パイプラインの収益化)



PB開発ポリシーは以下の3点に重点を置き、モラルのある商品開発を行う

- ・買やすい値頃感
- ・シンプルで飽きのこないデザイン
- ・社会課題の解決テーマを包含する

2022年8月期～2024年8月期 中期経営計画

(単位:百万円)

	2021年8月期 (実績)	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
総額売上高(※)	18,311	19,150	21,500	23,000
売上総利益高	4,167	4,715	5,375	5,865
(売上総利益率)	22.75%	24.62%	25.00%	25.50%
一般管理販売費	4,239	4,544	4,725	4,865
営業利益	△72	171	650	1,000
新店数	5	4	4	4
店舗数(期末)	82	86	90	94
外部環境	コロナ禍影響大	コロナ禍影響 前期並みを想定	コロナ禍沈静化	

※ 総額売上高 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しますが、期間比較のためこれまでの計上方法の売上高である総額売上高にて表記しております

2023年8月期:2019年8月期(コロナ前)比 103.6% (2019年8月期既存店 総売上高対比 92.4%)

2024年8月期:2019年8月期(コロナ前)比 111.1% (2019年8月期既存店 総売上高対比 96.0%)